

盛夏

匂坂正義

TIMEコンセプトに基づいた褥瘡治療と 当院での新たな取り組み

医療法人匂坂会サキサカ病院 匂坂 正孝

監修：静岡済生会総合病院 匂坂 正信（形成外科科長）

TIMEコンセプトに基づいた褥瘡処置

Wound bed preparation (WBP)

: 治癒しづらい慢性創傷を急性創傷における創傷治癒過程が進行しやすい状態に誘導するための創傷管理。

きずのきれいな治し方 改訂第二版.2012



WBPに系統的にアプローチするための枠組みとして
TIMEコンセプトが登場

- T (Tissue-non-viable or deficient; 組織活性のない壊死組織)
- I (Infection / Inflammation; 感染)
- M (Moisture imbalance; 滲出液過剰または乾燥)
- E (Edge of wound; 創縁)

これら一つ一つをマネジメントすることで創傷治癒を導く概念

LeeperDJ. Extending the TIME concept: what have we learned in the past 10 years? Int Wound J 2014; 9 (Suppl. 2):1-19

Harries RL. Wound bed preparation: TIME for an update. Int Wound J 2016; 13 (suppl. S3):8-14

当院の治療方法

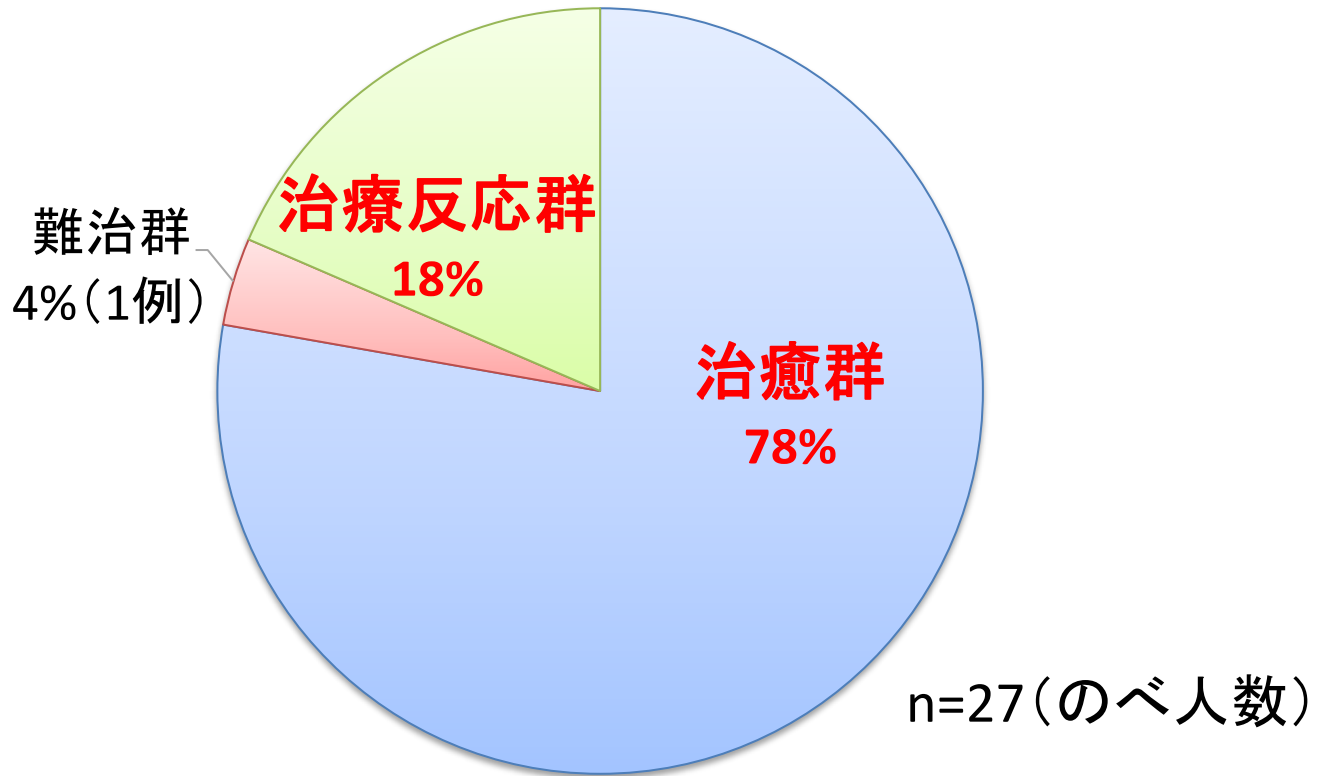
<自施設症例についての検討>

- 期間:2018年4月から2019年9月までの17ヶ月間
- 患者背景:平均年齢 92.4歳(64~99歳)(n=24)
褥瘡発生危険要因7以上(寝たきり)の症例が9割以上

<介入方法>

- 褥瘡処置は**TIMEコンセプト**に基づく管理方法
- **医療経済へ配慮した継続可能な低コスト治療の実践**
(アルギン酸Ag、ハイドロファイバー、フィブラストスプレー
などハイコスト製剤は不使用)
- 2019年4月より**当院経腸栄養プロトコル**(2020年日本臨床
栄養代謝学会 JSPEN YOUNG DOCTORS AWARD 2020受賞)の導入

当院の治療の有効性



<結果>

- ◆ 治療経過では現在治療中の症例を除くと、**約8割**の症例が**治癒**。
- ◆ 難治群(1例)は社会的要因により**必要十分な栄養摂取が困難**な症例。

※2019年11月時点での治療成績

DESIGNスコアによる重症度区分と治療成績

DESIGN score	褥瘡学会の予測	当院	
		成績	治癒数
≤9点	8割が1ヶ月未満に治癒	10割が35日で治癒	1/1 例
≤18点	6割が3ヶ月未満に治癒	7.5割が4ヶ月で治癒	12/16 例
≥19点	8割が3ヶ月でも治癒しない	8割が1年で治癒	8/10 例

褥瘡学会会誌, 12:141-147, 2010



<当院の結果>

- 軽症～中等症群では報告と**同等の治癒期間**
- DESIGNスコア≥19の**重症群の治癒率80%**(残り10%もほぼ寛解)
- 中等症には現在治療中の患者を含み、**全例治療に反応**。

※2019年11月時点での治療成績  sakisaka.or.jp